

# 井の頭防災地域支援連絡会 防災出前講座



令和8年5月19日（火）三鷹市防災安全部防災課

# | 本日の内容

- 震災時の火災の特徴とは？
- 私たちにできる備えとは？
- 質疑・応答

# 震災時の火災の特徴とは？

どんな特徴がある？

- 1 **同時多発** →全部で295件の火災が発生。うち、地震直後に53件。主な原因は電気が発火源、ガスが着火物。  
(内閣府調べ)



# 震災時の火災の特徴とは？

## 2 消火の困難性

- ・ 消防車が来れない！ → 火災が続発、道路通行障害など
- ・ 水が出ない！ → 水道管の破裂・損傷による断水



# 震災時の火災の特徴とは？

## 3 倒壊建物や多量の可燃物による延焼拡大

→倒壊家屋や散乱した家財道具も延焼経路になりうる！



# 私たちにできる備え

→電気の遮断（ブレーカーを落とす、コンセントを抜く、感震ブレーカーを導入するなど）

## 1 同時多発する火災

※冬場は暖房器具に注意！

電気ストーブが倒れる・電気ストーブの上に可燃物が落下する、というケースが多発！

→家具の転倒防止、家財道具の落下防止！

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要



# 私たちにできる備え

## 2 消火の困難性

→可搬ポンプやスタンドパイプを使って、自分たちで初期消火を行う！

→マイ消火器の設置、消火栓や防火水槽の位置を把握！



# 私たちにできる備え

## 3 倒壊建物や多量の可燃物による延焼拡大

→住宅の耐震化

→家具の転倒防止等



し字金具



チェーン



突っ張り棒



滑り止めマット

地震に強い家を作るために

- 制震装置で揺れを抑える  
はりと柱の間にダンパーを付ける  
(トキワシステム提供)
- 屋根を軽くして住宅にかかる力を低減  
陶器製の瓦  
スレートなど
- 倒壊しても身を守れる空間をつくる  
住宅の中に「シェルター」を設置する  
(宮田鉄工提供)
- 壁を補強し横揺れに強くする  
筋交いを入れる  
合板で固定



~質疑・応答~